



1975 Liberation of Saigon



2021 Liberation of Kabul



Populer Front Statements August 22, 2021 Hani Habib

Between Saigon and Kabul: Is it possible to avoid an approach?

サイゴンとカブールの間：アプローチを回避することは可能ですか？！

サイゴンの大使館の屋根。このシーンは数時間後に放送されます。しかし、今日、私たちがカブールで、そして遠くから一瞬で全世界を眺めて見たシーンは、時間的にゼロです。

特に大使館の屋上からでもカブール空港からでも、2つのシーンの避難の混乱を考えると、このアプローチを回避する機会はありませんでした。詳細でも、2つのシーン間のアプローチはイベントになります。それ自体、アメリカの敗北に関してだけでなく、ベトナムとアフガニスタンでのその代理人とその協力者の放棄に関しても。このアプローチを避けられないことをさらに強調するために、バイデン政権は、その軍隊であろうと「NATO」同盟の軍隊であろうと、今月末にアフガニスタンからの秩序ある撤退の早期計画を作成した。

しかし、アフガニスタンの州や都市での「タリバン」の継続的な支配により、次々と加速していきました。その他、ドミノシーンの前にいるかのように。それにもかかわらず、国防総省は、カブールのタリバンへの陥落は3か月後に可能であると示したが、それは3日しかかからなかった。

私たちが指摘したいのは、アメリカのビジョンはその詳細のほとんどで右側にあるということです。そして、その背後にあるアメリカの計画の誤り、主要な研究センター、および諜報機関の兆候としてのショックや驚きなどの言葉！アメリカの諜報機関について話している限り、2019年12月にCIAの新責任者であるウィリアム・バーンズが書いた「中東の魔法の思考の終焉」というタイトルの記事に立ち寄ることができます。アメリカの外交政策によって犯された過ち。一般的に、そして特に中東では、彼は次のように述べています。私たちはしばしば地域の傾向を読み違い、目標に対する手段を一致させません。私たちの宣教師の狂信は、過度の軍事的緊張、外交への過小投資、私たちの影響力に対する過大な傾斜、そして私たちの邪魔をしている障害の過小評価につながりました。

規律と失望の欠如に。バーンズが言及したこれらの数行は、パレスチナ問題を中心的な問題として含む世界のいくつかの地域でそうであったように、アメリカの外交政策によって犯された過ちと罪の理由を説明し説明していると信じています。

私たちが話しているアプローチの確かな違いに戻ると、ベトナムでのアメリカの敗北は、アメリカ人によって占領されたこれらの国々の統一につながりましたが、アフガニスタンでのアメリカの敗北は、国が中世に戻り、新しい国を発足させることにつながる可能性があります内戦の段階であり、これは確かに米国の占領の正当化を意味するものではありません。



Statement issued by the Political Bureau of the Popular Front for the Liberation of Palestine after the difficulty of the Cairo dialogue

June 20, 2021

パレスチナ解放人民戦線政治局、カイロ対話の困難の後発表した声明

2021 年 6 月 20 日

祖国と避難場所にいるわがパレスチナ同胞！

”エルサレムの剣”の戦いが始まった。わが人民は、永遠の首都エルサレムとその神聖なる場所、そしてシェイク・ジャッラ地区の人々の勝利を守るために、あらゆる場所でその闘いに参加しました。わがパレスチナの大義と祖国解放の本質を確認すること。統一された祖国解放の政治的プログラムが構築される基礎を作らなければならないという多くのいくつかの重要な事実を確認すること。おそらく、これらの事実の中で最も重要なものは、歴史的なパレスチナ全土およびディアスポラにおける民族の統一と民族的アイデンティティの確認、およびすべての形態での抵抗の価値の確認です。パレスチナの国民的、民族的、そして国際的な側面において大義の求心性と優先順位の再考することです。アラブの正常化の道は幻想に他ならないことが証明されました。世界の世論の前にエンティティ国は包囲されました。それは世界のほとんどの国で民衆による前例のないデモンストレーションによって表現されました。

わが不動の人民大衆！

戦いはまだ終わっていません。占領者との衝突をどのように管理し、それを包括的な闘争にどのようにリンクするかによってその結果は決定されます。

というのも、私たちは、現在の立場や取り組みを、ここまでの「エルサレムの剣」の戦いに結び付ける必要がある長期的な闘争に直面しています。

したがって、今月 11 日に開催される予定だったカイロ対話の延期を踏まえ、パレスチナ解放人民戦線政治局は、この声明を通じて次のことを確認しています。

第1に、パレスチナ解放機構の再建は、パレスチナ内部の状況に対処するための基礎であり続け るでしょう。この指標の主な責任はパレスチナの指導者が負い、所有しています。パレスチナの指 導者は、その独占と民族的パートナーシップの拒絶を止め、主要なパレスチナの機関、特にPLO の組織の発展を妨げることをやめなければなりません。そして、選挙を、私たちの組織を統一し全 てのパレスチナ指導的機関の機能（そしてその政治的および治安上の役割）の正当性を更新する ための国家的必要と考えなければなりません。したがって、立法評議会選挙の延期後にこの要求 を実施するための現在のアプローチは、民族のコンセンサスからはほど遠いものです。作業に必要なのは(A) PLO 活性化推進委員会を公布する必要性。民族協定に規定されている一時的なリーダー シップの枠組みとして、それは政治的根拠であり、人民の一時的なリーダーシップであり、パレス チナ解放機構の再建までの主要な政治的課題に対処しなければなりません。

(B)海外の民族評議会のメンバーの選挙に関連する選挙令の第 3 項目の実施に直接取り組むこ と。

(C)組織の活性化および開発委員会は、立法評議会選挙を実施する日付を設定します。民族評 議会選挙とパレスチナ自治政府の大統領選挙も含めて。

第2に、書記長会議の結果の再検討 二つの評議会の決定を含んでいますが、オスロ合意を廃 棄し、その悲惨な結果を克服し、シオニストエンティティ国家の承認を撤回することに向けて推進さ れなければならない。

第3に、不条理な交渉の過程を再現することへのすべての賭けをやめなさい、特に最近、国際決 議や全人民の権利を伴わない所謂二国家解決にもとづく交渉への復帰の要求が増加しているのである。

第4に書記長会議の結果の一つとして、大衆の抵抗のために統一された民族的リーダーシップを 構築するという決定の序章を加速する一特に、入植地に対峙してその土地を守っている英雄的な「ベータ」村の軸であり、多くの軸で占領者との衝突という災難の拡大に伴い、シオニスト入植者の 性質と構造、目標、計画、それらが、抵抗が選択肢であることを教えてくれている。

第5に、敵を包囲する過程での国際フォーラムでの政治的衝突、ボイコットの輪を拡大し、その篡 奪者国家を非合法化すること、そして国際社会に国際機関の決定を再考するよう求めることを要求する。これは、エルサレムを首都とする、完全な主権を持ち、帰還権、民族自決、独立国家を保 証するものです。

第6に、政府を形成するための基礎は、それが民主的な選挙の結果であり、敵との合意の条件に よって制限されたり、カルテットの条件に従うことではないということです。これには、和解を達成 し、分裂を終わらせるために、最初にパレスチナの家を整頓し、組織を構築することに焦点を当て る必要があります。

第7に、パレスチナでの包括的な蜂起に向けた人民運動を発展させ、アラブおよび世界の勢力、 政党、組織との関係を強化して、人種差別主義者およびファシストの植民地政策とエンティティ国 家の行為に反対する活動を発展させ、わが人民の闘争と民族の権利を獲得する。

第8に、政治的強奪やドナー国や占領者からの足枷から離れた復興のための民族メカニズムの採用を呼びかけ、それを包括的な開発プロセスに結びつけること。

ガザ地区の人々に基本的な サービスを提供し、雇用機会を拡げ失業を緩和し、復興メカニズムに対する一般的かつ全国的な 監視を提供するメカニズムを確立し、その迅速な実施、透明性、完全性を確保し、復興に到達する すべての援助がそれだけに向けられることを保証します。

結論として、我々は、対話には手順に必要な期間があるので、対話に必要な序章の醸成を確実に するために、段階を与える必要性を協調します。それを成功させる途上で、人民の国益を害する 可能性のある党派、地域、あるいは国際的なアカウントに依存しないよう警告します。合意に背を 向けたり、存在しないものとして考えないよう警告します。それは全人民の合意の結果を作り、望 ましい民族合意に到達する上で構築することができます。

殉教者への栄光、囚人への自由、そしてわが人民とその民族解放闘争への勝利を！

パレスチナ解放人民戦線政治局 2021 年 6 月 20 日

The President: With our solid national unity, we will drop all conspiracies against us.

**大統領～私たちの強固な民族統一により、私たちは
私たちに対するすべての陰謀をやめさせます！**

2021 年 6 月 21 日

ラマッラー-マアン-「ファタハ」運動の革命評議会が今夜、月曜日の夜に開かれ、マフムード・アッバース大統領が率い、第 8 回会期の作業が行われました。

「エルサレムは私たちの首都であり、私たちのアイデンティティと自由の住所です」。運動の中央委員会のメンバーの前で、ラマラの大統領本部のアーメドアルシュガイリホールで。

大統領はスピーチの中で、会議の冒頭で、ファタハ、ハマス、パレスチナ解放機構、イスラム聖戦に、24 時間体制で真剣な対話に戻り、分裂を終わらせ、

あらゆるレベルで民族パートナーシップを構築し、私たちの人々が直面している課題と危険、そして彼らの国の大義。

彼は、東エルサレムを首都とするパレスチナ国の土地の占領が終わるまで、私たちの人々は彼らの偉大な行進に疲れたり、容赦したりしないだろうと強調しました。

大統領は、「私たちは、この占領を私たちの胸、私たちの土地、そして私たちの人々から離れるように大声で言います」と述べました。

「私たちは、エジプト、ヨルダン、カタール、その他の姉妹国の兄弟たち、そしてガザ地区の再建のための国際社会と完全に連絡を取り合っています。

パレスチナは合法であると言いました。再建のための演説、そしてこれはパレスチナの土地の至る所で侵略の完全で包括的な停止を必要とします。」

大統領は、殉教者がその土地に倒れた人民抵抗のモデルとアイコンとなったベイタの私たちの苦勞している人々に敬意を表し、

ニリン、ディラスティア、ベイトダジャン、アズウン、カフルカドゥムの私たちの不動の人々に

敬意を表しました、マサファー・ヤッタとジョーダン・バレー、

そして人々が裸の胸と群れで占領その入植者に立ち向かう他の地域。

彼はまた、ヨルダン川西岸、エルサレム、ガザ、ディアスポラの不動の村、都市、キャンプでエルサレムの贈り物を支持したすべての人々に敬意を表しました。



The Palestinian issue is the issue of all the free people of the world and advocates of justice, humanity and coexistence in security and peace

ナクバ 73 周年:パレスチナ解放人民戦線(PFLP)が発表した政治声明

私たちのパレスチナ人、私たちのアラブ諸国、そして世界の自由な人々の息子たち

今日は、パレスチナのアラブ人に対して犯された最大の犯罪の 73 周年を迎えます。

それは、英国とアメリカ合衆国が主導する植民地と帝国の権力の全面的な支援、受け入れ、支援を伴うシオニスト運動によって実行されました。その間、私たちの人々は、根こそぎ、避難、体系的な民族浄化、土地や財産の盗難や盗難、そして私たちの人々に対するあらゆる形態の抑圧、攻撃、抑圧の実践にさらされました。

最後は、シェイク・ジャラ地区のパレスチナ人の家を押収し、エルサレムの人々から権利を行使することを奪おうとする試みでした。彼らの街の宗教的および市民的規範は、5 日間の継続的な攻撃までしかし、パレスチナの人々は故郷での歴史的権利に執着し続け、革命の旗を掲げ、それを取り戻すための国家闘争を繰り広げました。この道をたどると、数十万人の殉教者、囚人、負傷者がやって来ました。そしてまだ提供しています衝突、結末のシーンで、パレスチナの地域に基づいて英雄的な攻撃を撃退します

ガザ、ロード、ヤッファ、ウムアルファーム、ラマッラ、ナブルス、ヘブロン、ベエルシェバ、キャンプ、難民サイト、ディアスポラが定住した歴史的な中心部 エルサレムの呼びかけとシェイク・ジャラ地区は、ナクバの 73 周年とイスラエルの占領国家の樹立、パレスチナ人の状況の統一、彼らの大義、彼らの運命、彼らの権利と彼らの国家闘争を確認し、一致します。

今日、私たちは、シオニストの植民地化と解散の敵とともに、愛国的、国内的、国際的な表現のすべての対立、衝突、結末の状態で生きています。私たちは、患者のすべての息子、堅実で抵抗力のあるパレスチナの人々、そして私たちのアラブ諸国の息子と私たちの人々との連帯ではなく、世界の自由な人々に、誇り、誇り、忠誠の敬礼を送ります。

彼らは同じ抵抗の塹壕の中で、パレスチナの国境で敵と結末するその英雄的な場面で、そしてすべての分野でそれと一緒に立っていました。私たちも行きます。パレスチナのアラブ人の権利を守るための戦いで立ち上がった、そして今なお立ち上がっている私たちの国民

と国のすべての正義の殉教者、そして私たちのすべての囚人と負傷者、そして影響を受けたすべての人への誇り、誇りと忠誠の挨拶歴史的なパレスチナの地域とアラブリングの国々との国境でのシオニストの侵略と裏切りの手によって、私たちは英雄的なレバノンの殉教者であるムハンマドミラーを選び出しました。

私たちの人々、私たちの国、そして世界の自由な人々の大衆。それは、パレスチナとそれ以降の領土で起こっている対立と衝突の状態、そしてガザ地区での勇敢で勇敢な抵抗を回復させました。多くのレッスン、レッスン、事実を捧げます。

最も注目すべき点は、第一に、歴史的なパレスチナのすべてはパレスチナのアラブ人の財産であり、彼らの歴史的な物語、集合意識、実体、国民的アイデンティティ、運命の統一、闘争と目標を、すべての暫定的および解決的解決策を超えて強調しました。世紀のアメリカの取引。

第二に、抵抗は、すべての場所で私たちの人々の団結を強化する上での基本的な柱であり、和解プロジェクトへの賭けの崩壊、その交渉、そしてその悲惨な結果を確認します。悲惨なオスロ合意後、パレスチナの世代の意識を溶かし、改ざんし、一掃しようとするすべての試みにもかかわらず、同じ世代が抵抗の旗を掲げ、パレスチナの統一を奉獻します。統一された全国的なフィールドリーダーシップを通じて、それがまだ調和する必要がある人々、土地、そして運命。それは対立と衝突の状態を管理するので、私たちはそれで包括的な蜂起に到達します。

第三に、私たちのパレスチナ人は：国のビジョン、包括的な戦略、および一貫した組織構造を必要としています。それは、パレスチナ解放機構のリハビリテーションに現れています。国家的小および社会的パートナーシップと団結を奉獻するプログラム、役割、機能、および真のリーダーシップ。彼のすべての歴史的権利に基づいて、そして彼の自由、彼の難民の帰還、彼の独立と自己決定を達成するための道で彼の国家解放闘争を導いた。

第四に、この地域の主な矛盾は、シオニストの敵とその背後にある植民地と帝国主義の力、そして敗北、降伏、シオニストのアラブの政権と力の軌道を回っている人々との矛盾です。その自然な流れは成功しておらず、地域の国々、特にイランと州と一緒にそれを成し遂げていますそして抵抗の軸の中でそれと一緒に立っている力、そして実際にはパレスチナの人々を支持し、支持している人々です；彼の不動と勇敢な抵抗と勇気を強化し強化する方法で、さまざまな物質的および財政的能力を備えています。

第五に、パレスチナ問題は私たちのアラブ諸国の人々にとって中心的な問題であり、シオニストプロジェクトとその植民地および植民地の目標との闘いの文脈において、卓越したアラブ問題です。和解も正常化も、意識の家畜化も、私的な懸念への没頭も、戦争と争いの発火も、この紛争の性質と本質を隠したり、偽装したりすることに成功しませんでした。そのアラブ国家の次元で。

第六に、パレスチナ問題は、世界のすべての自由な人々の問題であり、正義、人道、平和と安全の共存を提唱し、植民地主義、シオニズム、帝国主義との戦いの統一を確認しています。私たちの人々、私たちの国、そして私たちの自由の子供たち 私たちは、すべての尊厳、名誉、犠牲、寛大さ、そして犠牲をもって、私たちの人々と私たちの故郷

の土地に対する私たちの権利を守るために戦いの真っ只中に戦っています。それは私たちの心のすべてにとって大切なことですが、それは私たちのパレスチナとアラブの故郷と世界の4つの地域に広がる自由、尊厳、正義のために支払われる持参金です。

殉教者への栄光...そして負傷者への癒し...そして囚人への自由 勝利は間違いなく私たちの味方です

パレスチナ解放人民戦線（PFLP） 中央情報部 2021年6月15日



Al-Shaabi calls for today to be considered a day of anger and the escalation of the intifada and calls for the popular influx of Jerusalem to break the cordon and counter the storming of Al-Aqsa

パレスチナ解放人民戦線(PFLP)が発したプレスリリース

2021年5月11日

我々は、ガザと占領地内部でのシオニストの犯罪的攻撃によって立ち上がったわが人民の殉教者を悼み、流された高潔な血が、占領者、その指導者とその子孫を悩ませ続ける呪いであることを確認します。我々は、栄光のガザ、堅忍不拔の西岸、高潔な聖地、そして占領の内側にいる英雄的人民に対し賞賛と尊敬の挨拶を送ります。彼らは、占領者の抑圧と絶え間ない攻撃に直面し、確固たる意志と鉄のような決意をもって最強であることが証明されました。

パレスチナの抵抗は、わが人民と聖地を冒涇することはレッドラインであること、そしてもし敵がさらに悪行を犯すことを考えているなら高い代償を払うことになる、という明確なメッセージを敵に伝えました。これは、パレスチナの抵抗が、敵が抵抗の条件に屈服し、犯行をやめるまで英雄的な闘いを続けるという確認です

エルサレムは、パレスチナ人と抵抗の王冠の真珠です。殉教者アブ・アリ・ムスタファ旅団がエルサレムを放っておくことはなく、勝利とエルサレムを守るために昼夜を問わずに任務を果たします。あらゆる場所の人民にメッセージがあります。前線において統一された闘いを継続し、あらゆる場所で敵との衝突をエスカレートし、犯罪者に対峙する大規模なインティファダを！

”我々がどうであれ、地上の我々の行動によって敵に我々の声を聞かせてください”

プレス声明ー

人民戦線は、今日を怒りの日とみなし、インティファダの拡大を呼びかける。そして、非常線を突破し、アルアクサの嵐に立ち向かうため、人民がエルサレムに突入することを呼びかける。

パレスチナ解放人民戦線（PFLP）は、占領地内部の人々と、占領下の西岸からエルサレム市へ至急結集できる人々と、占領者によって張られた非常線を突破できる人々に、市とその聖地への間断ないシオニストの攻撃に対峙するエルサレムの人々を支援するため、そして今日、入植者がモスクの中庭を襲撃しようとするのを阻止するために呼びかけます。人民戦線は、エルサレムの人々に敬意を表します。彼らは、エルサレムの占領政策に断固として立ち向かい、エルサレムのアラブ人としてのアイデンティティを守ってきました。入植者たちが聖地を冒涇するのを防ぐためにアルアクサ・モスクに居続ける必要があります。断固として抵抗し、勇敢であり続けるよう彼らに呼びかけます。

人民戦線はまた、この日がエルサレムとその人々を支援するための怒りのインティファダ拡大の日であると呼びかけるように、エルサレムのためあらゆる場所で全人民的支援活動を継続することをパレスチナ人民に求め、占領者との接触地域を西岸全域で交戦地域へと変えて行く必要があると呼びかけます。

人民戦線は、エルサレム市での占領者と入植者の間断なき犯罪とアルアクサ・モスクの中庭を冒涇する試みに直面して、抵抗が様々な形で続くということを、そして、今後数時間が重要であることを強調します。彼らの試みは代償を支払わねばならないことを強調しておきます。

人民戦線は、声明の締めくくりとして、シオニストの戦争犯罪を阻止するための国際社会による緊急の行動を求めます。エルサレム市、アルアクサ・モスクおよびシェイク・ジャラ地区での進行中の体系的な民族浄化政策の危険な影響を警告します。

パレスチナ解放人民戦線（PFLP）中央情報部 2021年5月10日



Musa Ayad The Popular Front for the Liberation of Palestine 1n Gaza City on Saturday staged angry protest marches against the decision to postpone legislative elections and in honor of May 1, World Labor Day.

👍 [アッバース大統領ー立法評議会選挙の延期声明+PFLP 声明（4・29）](#)

👍 [2021年パレスチナ解放闘争～中東の新たな動き（重信房子/1・29）](#)

👍 [パレスチナ「名誉憲章」（3・16）](#)

👍 [パレスチナ総選挙ー・・・パレスチナの政治における効果的な役割の探求との間の「左翼」の力（3・2）](#)



[パレスチナ解放人民戦線発足 53 周年に政治局発表声明（2020・11・12）](#)